

2012年植物科学シンポジウム

植物科学

最先端研究への期待

2012年12月3日(月) 10:00~17:45(開場9:30)

ココヨホール(品川駅港南口前)

参加無料

若手研究者による最先端研究

「植物と有用土壌微生物との共生機構」

今泉(安楽)温子(農業生物資源研究所)

「酵素触媒を用いた新規バイオポリマー合成」

沼田 圭司(理研・バイオマス工学プログラム)

「低エネルギー光による光合成光エネルギー変換」

鞆 達也(東京理科大学、さがけ研究者)

「高バイオマス高糖性ソルガムの育種開発」

佐塚 隆志(名大生物機能開発センター)

「光合成・物質生産システムの最適化」

彦坂 幸毅(東北大院生命科学、CREST研究代表者)

食料・資源とエネルギーの確保及び環境保全のための植物科学研究

「新農業展開プロジェクトの成果と今後の展望」

廣近 洋彦(農業生物資源研究所)

「植物バイオマスから高機能バイオマテリアルの生産」

近藤 昭彦(神大院工)

「ファイトケミカルゲノミクスからの展開によるレアプラント'甘草'のグリチルリチン生産にむけて」

斉藤 和季(理研植物科学研究センター)

「植物による物質生産の基盤技術開発から応用まで」

松村 健(産総研植物分子工学)

各省の植物研究担当部局の取組み

文部科学省/農林水産省/経済産業省

パネルディスカッション:オールジャパン植物科学研究ネットワークへの期待

話題提供:植物科学からの持続的食糧生産、再生可能な資源とエネルギーの確保及び環境保全への貢献

司会:篠崎 一雄(理研植物科学研究センター長)

パネラー:横山 伸也(鳥取環境大、総合科学技術会議:バイオマス利活用サブリーダー)、廣近 洋彦(農業生物資源研究所理事)、高木 優(埼玉大環境研究セ(兼産業技術総合研究所研究員))、福田 裕穂(東大院理(NC-CARP代表))、3省の担当者

18:00-19:30:懇談会(参加費6,000円は当日徴収)

◆主催:

植物科学大学研究者ネットワーク

(独)理化学研究所植物科学センター

(独)農業生物資源研究所

(独)産業技術総合研究所

シンポジウムの詳細及び懇親会の参加登録は、株式会社クバプロ <http://www.kuba.co.jp/> へ。

本件に関する問い合わせ先:奈良先端大バイオサイエンス研究科 yokota@bs.naist.jp